

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月 11日	
堺市長 殿	
提出者	
住所 大阪府大阪市中心区南船場一丁目14番10号	
氏名 大成建設株式会社 関西支店	
常務執行役員支店長 足立 憲治	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 06-6265-4610	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	

事業場の名称	大成建設株式会社 関西支店
事業場の所在地	大阪府大阪市中心区南船場一丁目14番10号
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	1,339億円
③従業員数	1,108人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 **別添2 管理体制図のとおり**

(管理体制図)
---------

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 **集計用シート (前年度・今年度)、別紙1のとおり**

①現状	【前年度 (            年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項 **集計用シート (前年度・今年度)、別紙1のとおり**

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 集計用シート (前年度・今年度)、別紙1のとおり

①現状	【前年度 (                      年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 集計用シート (前年度・今年度)、別紙1のとおり

①現状	【前年度 (                      年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面-1)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 **集計用シート（前年度・今年度）、別紙1のとおり**

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 **集計用シート（前年度・今年度）、別紙1のとおり**

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

②計画	【目標】 集計用シート（前年度・今年度）、別紙1のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



今年度【令和7年度】目標

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総合的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総合的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																			
コード	名称	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量	委託先による区分					⑪優良認定処理業者への処理委託量(t)	⑫②+⑧自ら再生利用を行った量(t)	⑬③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)		
		(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	⑭再生利用者への処理委託量(t)	⑮熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑯熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑰その他の中間処理委託量(t)	⑱埋立処分委託量(t)	(t)	(t)			
100	燃え殻																			0	0
200	汚泥	30.0										30.0	30.0					30.0		0	0
300	廃油	0.0										0.0	0.0					0.0		0	0
400	廃酸																			0	0
500	廃アルカリ	0.0										0.0	0.0					0.0		0	0
600	廃プラスチック類	10.0										10.0	10.0					10.0		0	0
2430	廃プラスチック類(石綿含有)	10.0										10.0	10.0					10.0		0	0
700	紙くず	10.0										10.0	10.0					10.0		0	0
800	木くず	10.0										10.0	10.0					10.0		0	0
900	繊維くず																			0	0
1200	金属くず																			0	0
1300	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	20.0										20.0	20.0					20.0		0	0
1322	廃石膏ボード	0.0										0.0	0.0					0.0		0	0
2420	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有)	20.0										20.0	20.0					20.0		0	0
1500	がれき類	220.0										220.0	220.0					220.0		0	0
1501	コンクリート塊	20.0										20.0	20.0					20.0		0	0
1502	アスファルト・コンクリート塊	100.0										100.0	100.0					100.0		0	0
2440	がれき類(石綿含有)	100.0										100.0	100.0					100.0		0	0
2010	建設系混合廃棄物(安定型)	100.0										100.0	100.0					100.0		0	0
2020	建設系混合廃棄物(管理型)	100.0										100.0	100.0					100.0		0	0
2410	建設系混合廃棄物(石綿含有)																			0	0
1400	鉱さい	0.0										0.0	0.0					0.0		0	0
合計		400.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	400.0	400.0	0	0	2.0	400	0	0	0	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。